

# 検診は頑張っている自分へのご褒美

乳がんの2回の再発、右胸の再建手術を乗り越え、乳がんの啓発活動にも勢力的に取り組む女優の生稲晃子さん(51)。「頑張っている自分へのご褒美」だと思っただけの人に検診へ行ってほしい。乳がん検診の重要性や、自身の思う患者の周りのサポート体制の在り方などを語った。



生稲 晃子(いけいな あきこ)

1968年4月28日生まれ、東京都出身。1986年6月フジテレビ「タヤケニヤンニヤン」オーディション合格(おニヤンクラブ会員番号40番)現在、女優・リポーター・講演活動などで活躍中。また、厚生労働省「がん対策推進企業アクションアドバイザー」を務めている。

## 右胸にありがとう、そしてさようなら

**2度の再発・全摘出**  
「乳がんであることがわかったきっかけは、友人に勧められた人間ドックがきっかけです。それまでは、自治体からの無料検診を中心にお知らせが来るようになって、何となく申し込んでみるという感じでした。その程度の検診の受け方だったのですが、2010年に、仕事などでバタバタしていて申込みを忘れてしまっていたんです。『来年度検診に行けばいいや』と思っただけで、医師の友人に「たまには人間ドックを受けなさい」と言われて、面倒くさいなと思ったのですが、11年の1月に予約を入れたんです。そのときに受けた人間ドックの再検査で、右胸にある腫瘍が悪性であるという診断が出ました。」

「その後はどのような治療をしたのでしょうか。」  
生稲 「その年に手術をして、放射線治療とホルモン治療を始めました。ところが、翌年にニキビのようなものが皮膚のところにできて、それを調べたら悪性だったんです。私の場合、最初のがんが、8月の早期発見だったので、なかなか見つけれない大ききであつたそうです。『本当にラッキーだったね。よかったね』と言っていたら、その再発で、最初のときよりも大きくなりました。悪性の細胞を取ってしまうことで手術は済み、自分でも、もつこれで終わりだと思っていたのですが、2回目の再発です。」

「2回目の再発です。」  
生稲 「翌年に、今度は先生の検診がきっかけで調べたら悪性だったんです。放射線も当てたのに、2度の再発は、確率としてはとても低いそうです。『最悪のケースも考えなくてはいいかな』と素人考えで思っていました。」

「先生からも『3度目があつたら危険です。一度この細胞を取って、病理検査で調べます。でも、この細胞を取る手術が最後とは思わなくて、ださ』と言われたんです。結果は、やはり悪性です。先生から改めて右胸の摘出の話があつた日に、摘出を決しました。」

「即答だったのでですね。」  
生稲 「はい。もちろんショックでしたが、そんなに悩まなかつたですね。そのとき、娘が10歳に満たない年齢だったので、『この子が成人するまでは死ぬわけにはいかない。せいかく自分のところに生まれてきてくれたのだから』という思いが強かったです。」

### 26日大宮でライトアップ点灯式 生稲晃子さんも登場

生稲晃子さんがゲストとして登場する「ピンクリボン ライトアップ点灯式」(ピンクリボン運動推進埼玉県委員会主催)が26日、さいたま市大宮区の大宮ソニックシティイベント広場で行われる。ピンク色の美しい光のリボンがソニックシティの壁面に浮かび上がり、視覚的に乳がん検診を呼び掛ける。ご来場者、先着500名様にプレゼントあり。ライトアップ点灯式およびピンクリボントークショーは午後6時から。

同日開催される2019大宮区民ふれあいフェアにも「ピンクリボン運動」のブースを出展する予定(午前10時~午後3時 ソニックシティ第1展示場)。

「安心感のために検診を」  
「26日にさいたま市で開催される、ピンクリボンライトアップ点灯式に参加するなど、ピンクリボンの啓発活動にご尽力されていますが、最後に読者へメッセージをいただけますか。」  
生稲 「今までそんなに心配を持っていなかった。『私は大丈夫』だと思っていた方たちは、最初の一步として、ぜひこの点灯式に来ていただきたいと思つています。イベントに参加することで、『自分の体のことを再確認しよう』というきっかけになったらうれしいなと思つていますし、ちょっと検診を受けてみようかなと思つていただけたらと思います。」

「患者が望むまわりのサポート体制は？」  
生稲 「がんになられた方の性格もあるし、いろいろだと思いますが、まずは病気で辛い思いをされている方が、いかに早く回復して、言葉で話さなくても、周りの人が『自分たちのことを再確認しよう』というきっかけになったらうれしいなと思つていますし、ちょっと検診を受けてみようかなと思つていただけたらと思います。」

「サポートは、まず寄り添うこと」  
「乳がんの発覚・2度の再発・そして右胸の全摘出...生稲さんが乗り越えられた理由。」  
生稲 「もちろん家族がいてくれたのが、一番心強い支えになっていると思つています。あと、『仕事』というのも大きいと思つています。『自分が必要とされている』という思いを、家の中だけではなく仕



「検診は、頑張っている自分へのご褒美」と思つて、1年に1回、2年に1回検診を受けるという風に考えようというのかなと思つています。」

### グループを挙げてピンクリボン運動推進

1都4県下に29の病院や6つの介護老人保健施設など177事業所を展開する戸田中央医療グループ(TMG)中村隆俊会長は、グループの拠点である戸田市を中心に乳がん撲滅のためのピンクリボン運動の推進に尽力している。平成19年から10年間開催された「ピンクリボンウォークIN戸田市」にも毎回、全面協力するなか、同市の乳がん検診受診率はウォーク開始当初の5%から10年間で9.9%まで上昇。県内トップクラスの検診率を誇るまでに至つた。

また、埼玉県さいたま市の協力のもと、今年から開催している「ピンクリボンウォークIN増玉」の様子

今年の9月15日には、なでしこリーグ2部「ニッパツ横浜FCシーガルズ」の公式戦でピンクリボンマッチを開催

ウォークの途中に設けられた疑似乳房体験ブース

「安心感のために検診を」

「26日にさいたま市で開催される、ピンクリボンライトアップ点灯式に参加するなど、ピンクリボンの啓発活動にご尽力されていますが、最後に読者へメッセージをいただけますか。」

生稲 「今までそんなに心配を持っていなかった。『私は大丈夫』だと思っていた方たちは、最初の一步として、ぜひこの点灯式に来ていただきたいと思つています。イベントに参加することで、『自分の体のことを再確認しよう』というきっかけになったらうれしいなと思つていますし、ちょっと検診を受けてみようかなと思つていただけたらと思います。」

---

### TMGの乳がん検診実施施設 (埼玉県内)

早期発見・早期治療で、あなたの乳房と命を守ります。最新式のマンモグラフィーやエコーを備える、お近くのTMG各施設へ

- 戸田中央総合病院 戸田市本町1-19-3 ☎048-442-1111
- 戸田中央総合健康管理センター 戸田市中戸田2-32-20 ☎048-442-1118
- TMG あさか医療センター 朝霞市溝沼1340-1 ☎048-466-2055
- 新座志木中央総合病院 新座市東北1-7-2 ☎048-474-7211
- TMG 宗岡中央病院 志木市上宗岡5-14-50 ☎048-472-9211